

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名： 大濠公園
- 2 指定管理者名： にしてつグループ公園管理団体（代表団体 株式会社西鉄グリーン土木）
- 3 指定期間： 平成29年4月1日～平成34年3月31日
- 4 施設設置目的： 都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。
- 5 管理運営についての点検結果（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
 - (1)点検方法： 事業報告書を基に、現地確認、ヒアリング等を行い、指定管理者の管理運営実施状況の点検を行った。
 - (2)点検結果： 別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取組や改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・全国有数の水景公園として水質や景観木を保全し、県民や急増する観光旅行者に誇れる公園とする。 ・地域やボランティア団体と連携し、県民に愛される公園環境の創出に努める。 ・公園の安全利用上の諸問題については、マナー啓発や注意指導等により解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本県を代表する水景公園であり、大濠池や日本庭園を有し、多くの県民に利用される公園として、施設の維持管理や園内の安全対策を適切に行った。 ・ボランティア団体と連携し、月に1度の清掃活動の実施やマナーアップ啓発活動及び園内パトロールに取り組んだ。 ・歩行者、自転車、ランナーへの通行マナーの指導、啓発活動を実施するとともに、マラソン大会主催者と協力して大会での集合・解散・応援マナー等のルール策定に取り組んだ。 ・職員を対象に各種コンプライアンス研修を実施するほか、出勤後、全員アルコールチェックを行うことを義務付けた。
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の景観を向上させ、日本庭園を観光スポットとして紹介し利用促進を図る。 ・ひまわりプロジェクトやどんたくの際の花自動車展示、花火大会の際の日本庭園の観覧席設置、ランニングクリニック、夏休み将棋教室、ウインターイルミネーション、カヌー教室、お茶会等の自主事業を継続する。 ・車椅子、ベビーカーの貸出しを試験的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに花壇を増設し、チューリップやひまわり等の四季折々の花を植えて、来園者に安らぎを与えた。また、4か国語に対応した日本庭園の看板を設置し、ホームページ、パンフレットを作成するほか、市内観光案内所等にパンフレット配布を頻繁に行うなど、インバウンドの利用促進を図った。 ・提案どおり各種イベントを実施した。特に日本庭園でのお茶会を月1回から月2回に増やしたことにより、日本庭園の集客も増え、日本文化の魅力発信に貢献した。また、ひまわりプロジェクトとして子供たちが植えた苗が、花火大会において踏み荒らされ被害を受けたが、新たな苗の寄贈を受け、迅速な復旧に尽力した。 ・車椅子（7件）、ベビーカー（2件）の貸出しを管理事務所で行い、要望に応じて駐車場にも出向いて対応した。好評を受け、今後も継続して実施することにした。 ・日本庭園利用者数：65,752人（対前年度比112.6%） ※外国人観光客の入園が増加した。

大項目	事業計画（取組や改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> 園内で発生した落葉や剪定枝、伐木は処分費が生じないように再利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 落葉は堆肥として園内花壇等に使用し、剪定枝はチップ化し抑草材（雑草の生育を抑制）として再利用した。 駐車場、日本庭園利用料金収入実績：69,472千円（対前年度比101.4%、対17年度比212.4%） 委託料実績額：115,077千円（対17年度比61.6%）
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> 責任者は豊富な実務経験と資格を有する者を配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 現場責任者にマネジメント経験10年以上の2級土木施工管理技士を、植物管理責任者に2級造園施工管理技士等の有資格者を配置した。
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> 強風による倒木や破損の恐れのある対象樹木への対処。 地震時の危機管理のため、訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 樹木医による計画的な樹木診断を行い、倒木の危険のある樹木の把握や対策に努めたほか、台風等の自然災害の発生が想定される場合、待機・巡回により早急な復旧に備えた。 地震時の被害防止のため、各自の判断で行動できるように災害図上訓練を実施した。

②点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input checked="" type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】 本県を代表する水景公園であり、大濠池や日本庭園を有し、多くの県民に利用される公園として、施設の維持管理や園内の安全対策を適切に行った。 ボランティア団体と連携し、マナーアップ啓発活動や園内パトロールを行うとともに、職員を対象に各種コンプライアンス研修を実施するほか、出勤後、全員アルコールチェックを行うことを義務付けた。 市内観光案内所等にパンフレット配布を頻繁に行うなど、インバウンドの利用促進を図った。 日本庭園でのお茶会を月2回に増やしたことで、日本庭園の集客も増え、日本文化の魅力発信に貢献した。 特に、ひまわりプロジェクトとして子供たちが植えた苗が、花火大会において踏み荒らされ被害を受けたときには、新たな苗の寄贈を受け、迅速な復旧に尽力した。 また、車椅子、ベビーカーの貸出しを行い、今後も継続実施とするなど、当初提案以上の管理運営を行った。 以上のように、提案内容をやや上回る管理運営が行われた。</p>
---	---